

TOGICAI

VOL.5

2026年 政治の大きな転換期

選挙があり1月号を発行できなかったため
今月号は文字多めでお送りいたします。

練馬区にて 意見交換会計画中

イベント・お祭りなど
ご招待・ご案内大歓迎！
面白い活動のアイデアも
お待ちしております。

後援会(無料)の
ご登録はこちら

会員数
500人突破！



速報

令和8年度東京都予算案において 「18歳の壁」政策と自殺対策政策に 新たな予算が計上されます！

練馬区でも視察を行ない、国政でも大臣要請・法案化を進めてきた「18歳の壁」対策(10月号参照)が、10億円規模で新規予算化される見込みとなりました。あわせて、これまで訴え続けてきた「自殺対策をカウンセリングや広報で終わらせず、必要に応じて医療につなぐ仕組み」についても、その具体化を含めて予算化が検討されています。

これらの予算は、現在開会中の都議会第一定例会で議論されています。政策の実現に一步近づいたことは嬉しいものの、重要なのは中身です。より実効性が担保された制度となるよう、引き続き議論を深めていきます。



新しい仲間が増えました
国民民主党練馬区支部に

NEW

倉田
れいか

練馬区議
現職5期

頼れる
姐さん！

区政とも連携し
練馬区をもっと
住み良い町へ



衆議院議員選挙がありました

先般の衆議院議員選挙においては、多くの皆様のさまざまな形でのご支援ありがとうございました。また、期間中は各地で街宣車の運行や街頭演説などでお騒がせをいたしました。



練馬区では議席獲得とはならなかったものの、東京比例3議席、全国で28の議席をいただきました。理念と政策を大切に、国民民主党一丸となってしっかり働いてまいります。

2月の東京都議会

- ・1月に各会派で当初予算に向けた検討・要望の取りまとめが行われ、東京都は令和8年度当初予算案を公表した。
- ・2月18日には第一回定例会が開会され、知事の施政方針表明および当初予算案の提案説明が行われた。
- ・本会議では代表質問が実施され、物価高対策、子育て・若者支援、防災、福祉・医療など来年度の重点政策について議論が交わされた。
- ・予算特別委員会が設置され、各局別の質疑を通じて事業の必要性や実効性について審査される。
- ・各常任委員会において当初予算の所管部分の議論が開始される。

はなまゐる 都政報告



1月から3月は、地方議員にとって新年度予算を審議する一年で最も重要な時期です。そうした中、衆議院が解散し選挙が行われるという大きな政治日程が重なりました。選挙後わずか1週間で都議会第一回定例会が開会し、慌ただしい中での予算審議が始まりました。

1月30日に東京都が発表した新年度予算案は、一般会計歳出総額が9兆6,530億円、前年度当初比5.4%増（4,950億円増）となり、過去最大規模となりました。人への投資、チルドレンファーストの強化、強靱な都市づくりを柱とし、特別会計などを含めた全会計では18兆6,850億円に達しています。国民民主党の要望もいくつか組み込まれており、数字の大きさが注目されますが、重要なのはその中身です。どの事業にどれだけ配分され、どのように実行されるのかを丁寧に検証していく必要があります。

第一回定例会の一般質問では、坂本まさし幹事長（世田谷区）と天沼ひろし政調会長代理（江戸川区）が登壇し、国民民主党が予算要望で訴えてきた各項目について質疑を行いました。

個人的には、練馬区で視察を行い法案提出までを国民民主党が他党に先駆けて実行してきた「18歳の壁」対策に10億円以上の予算が計上されたことや、自殺対策の文脈で医療につなぐ新たな取り組みに予算が措置されたことなど、評価できる施策も多く盛り込まれていました。一方で、財政規模が拡大する中で、「なんでもできる」という発想に陥ることなく、本当に必要な施策に重点化されているか、実効性が担保されているかを丁寧に見極める姿勢も欠かせません。

3月からは各委員会で本格的な予算審議が始まり、区議会でも予算審議が進んでいます。都と区が連携しながら、現場の実態に即した運用となるよう議論を深めていきます。予算の規模が過去最大だからこそ、その執行の中身を丁寧に点検することが、都議会の重要な役割だと考えています。



1月はお休みしてしまい申し訳ありませんでした... 〇〇

様々なご挨拶の機会をいただいた1月、月末の突然の解散でこの都政報告についてもお休みしてしまいました。2月18日から第1定例会が行われる中での選挙は本当に大変でした。皆様のお力添えに感謝するとともに、引き続き、区政・国政と連携しながら自分の持ち場でしっかりと働いてまいります。

区政との連携といえば、練馬区吏部に新しい仲間が生まれまして。現職5期のバテケン倉田れいか区議会議員です。25歳で初当選、長く無所属で活動されてきた、筋の通った、めっちゃカッコ良い女です。練馬といえば石黒区議ですが、石黒さんに負けず、自身の足で声を聞き、手を動かして区政を前に進める。背中を推せる先輩が増えて嬉しい。一緒に頑張ります！



さて、色々あれSNSもお休みしているのですが、様々な物事の整理の時間に使っています。自身の政策の再構築、決算から予算編成の流れの中で見えてきた東京市の構造、より深く、「自分が何をやりたかったのか」「拾えていない声は何なのか」を改めて整理しています。ネットニュースにはたいていともあり、友人や家族など普段政治を見ていない人から

様々な心配の声があり、反省すべきは反省する一方で様々なかたちで寄せられる誹謗中傷執拗な粘着行為や虚偽の流布などにも悩まされており、弁護士の先生と相談しながら、どこまで対応すべきか検討しているところでも。

SNSを私にとっては大切なプラットフォームで、税金でお給料をいただいている以上、少しでも活動を見える化したい思いがあります。バウンズを見ながら再開していきたい。私に限らず、他者への過度な攻撃を見つけた際は通報する等素々と対応させていただきと幸いです。ご迷惑をおかけした方へ改めてお詫言申し上げます。

東京の予算は総額16兆を超えています。3月からは委員会質疑も始まります。

その中で今回大きく予算がついたのは**18歳の雇対策**です。

国民民主党は区・都・国が連携をしながら、練馬区で視察を行い、大臣への申し入れ、法案の提出を行っています。今回予算がついたのは「居場所支援」がメインですが、今後は「学びの機会の提供」などより幅広い選択肢が隣がいの有無に関わらず

得られる社会の実現に向けて議論を続けていきます。特に、所得制限の撤廃や隣がいの見直しに比べて薄くおぼろげな隣がいの見直しやその家族への支援についても踏み込んでいきたいと思っています。

- 新 区市町村障害者の居場所づくり促進事業【福祉】 ⑧10億円（新規）
- 新 長期休暇期間中の障害児の居場所づくり促進事業【福祉】 ⑧2億円（新規）

18歳を超えた障害者の夕方の時間帯や、障害児の学校の長期休暇中における朝の時間帯について、居場所をつくる事業所を区市町村を通じて支援

事業概要

区市町村障害者の居場所づくり促進事業

[現状・課題]

特別支援学校卒業後、放課後サービスから、生活介護等のサービス（15時頃終了）に移行
→家族の就労に影響（いわゆる「18歳の壁」）

生活介護等 9時～15時	夕方の居場所が課題 15時～
-----------------	-------------------

* 福祉上は加算があるが、人員配置に見合わず、使われない傾向

[支援の方向性]

「18歳の壁」対策、夕方の受入れ促進、障害者の社会参加と家族の就労継続を支援

[補助内容・実施規模]

基本額（人/日）* 加算あり
区分5以上9,000円（4時間以上 12,000円）
区分4以下4,500円（4時間以上 6,000円）
実施規模：17自治体

長期休暇期間中の障害児の居場所づくり促進事業

[現状・課題]

長期休暇中における障害児の朝の預け先等が課題
(時) 8 10 12 14 16 18

通常時期	特別支援学校等	放課後デイ
長期休暇中	預け先がない 報酬上、加算がない	放課後等デイサービス (延長加算について2時間以上は定額)

[支援の方向性]

夏休み期間中朝の朝の受入れを促進、家族の就労継続を支援

[補助内容・実施規模]

基本額：7,500円（人/5時間）* 加算あり
実施規模：10自治体

自殺対策について様々な文脈で予算がついています。私が所属する厚生委員会の分野では他県に比べて全分野に予算がついていますが、しかし大切なのはその実効性という点。"東京でできたよ！"とつくって国と連携して日本中に広げていく。これを1つの首都の使命だと考えています。引き続きしっかりと取り組んでいきます！

SNSやメールともあり、ポリシーも重め... DMもリプライもしています！ありがとうございます

